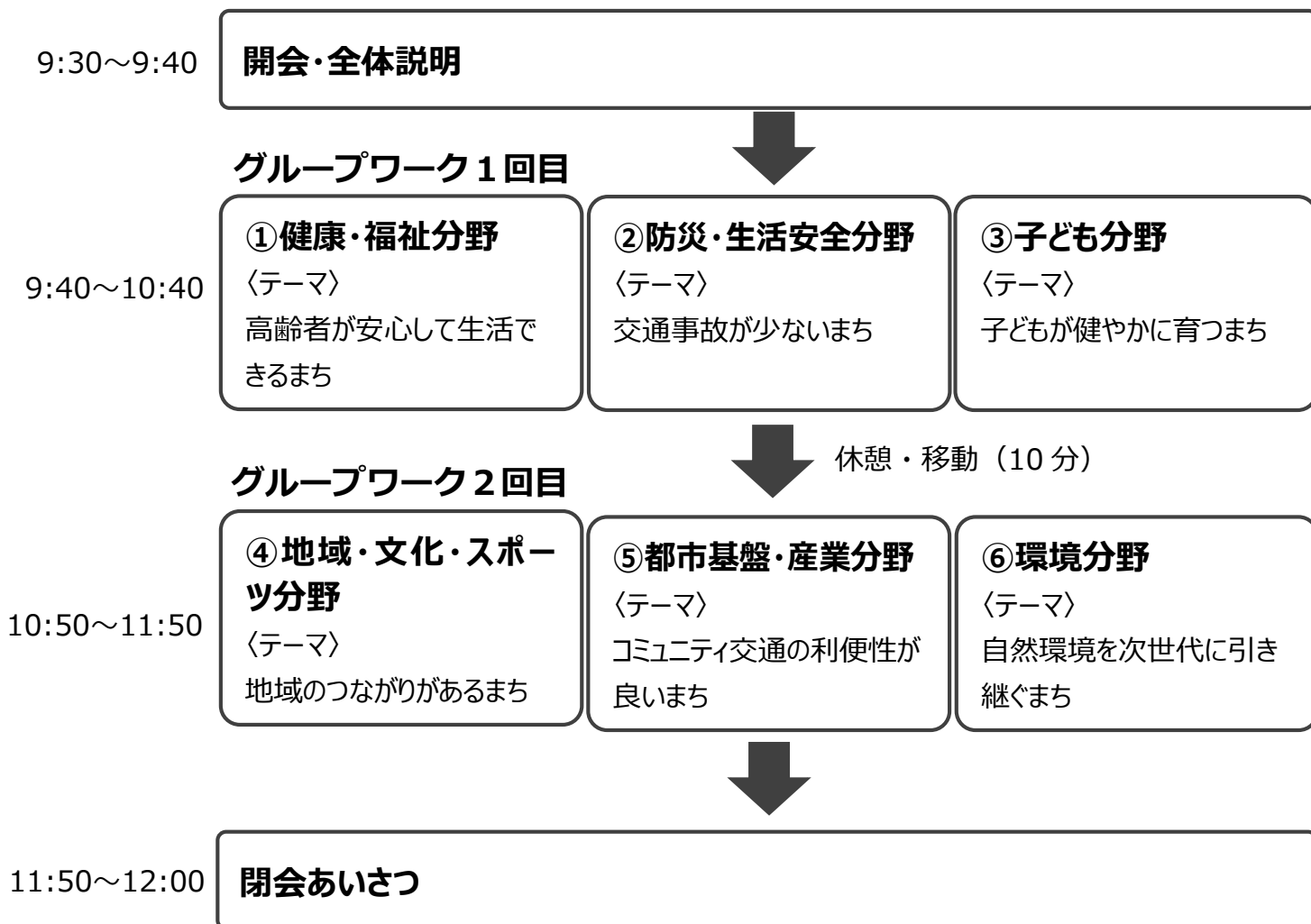


第 4 回総合計画審議会について

日 時 平成29年 2月16日（木）午前 9 時30分～正午
 場 所 市役所 3 階301・302会議室
 出席予定 23名（欠席：福井委員）

第 4 回総合計画審議会の進め方



【グループワークの進め方】

- 1) 各テーマの現状・課題などの説明（5分）
- 2) 各委員の意見説明＋議論（40分）
 - **めざすまち(テーマ)の実現に必要なこと** →施策の展開に反映
 - **自分や家族ができること** →市民ができることに反映
 - **地域ができること** →地域ができることに反映
 - **行政が担うべきこと** →施策の展開に反映
- 3) まとめ（5分）
- 4) 発表（10分）

第4回総合計画審議会グループ分け

■ 1回目

(敬称略)

グループ	氏名	団体名等
①健康・福祉 〈テーマ〉 高齢者が安心して生活できるまち 〈担当者〉 地域福祉課長 神戸 〈事務局〉 企画政策課課長補佐 田口	松村 亜矢子	中部大学
	熊谷 三映子	春日井市婦人会協議会
	黒田 龍嗣	春日井市社会福祉協議会
	高木 洋一	春日井市区長町内会長連合会
	高塚 徳夫	春日井市老人クラブ連合会
	南部 哲男	春日井市東部ほっとステーション運営協議会
	藪木 聡博	春日井市安全なまちづくり協議会ポニター連絡会
	勝 昭雄	公募
②防災・生活安全 〈テーマ〉 交通事故が少ないまち 〈担当者〉 交通対策課主査 伊藤 〈事務局〉 企画政策課主査 亀田	田中 智麻	名古屋学院大学
	犬飼 真紀子	春日井市文化協会
	井村 茂則	公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団
	二宮 久夫	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議
	松尾 隆徳	春日井商工会議所
	河原 吉矢	公募
	中島 亮	公募
③子ども 〈テーマ〉 子どもが健やかに育つまち 〈担当者〉 子ども政策課長 西田 〈事務局〉 企画政策課主任 欄	谷口 功	椋山女学園大学
	長岡 龍男	春日井市保育連盟
	水戸 勤	春日井市小中学校PTA連絡協議会
	秋山 普史	公募
	伊藤 昭彦	公募
	岩下 昌道	公募
	二村 みどり	公募

■ 2回目

(敬称略)

グループ	氏名	団体名等
④地域・文化・スポーツ 〈テーマ〉 地域のつながりがあるまち 〈担当者〉 市民活動推進課長 長谷川 〈事務局〉 企画政策課課長補佐 田口	谷口 功	椋山女学園大学
	松村 亜矢子	中部大学
	犬飼 真紀子	春日井市文化協会
	井村 茂則	公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団
	黒田 龍嗣	春日井市社会福祉協議会
	南部 哲男	春日井市東部ほっとステーション運営協議会
	勝 昭雄	公募
	二村 みどり	公募
⑤都市基盤・産業 〈テーマ〉 コミュニティ交通の利便性が良いまち 〈担当者〉 交通対策課主査 金田 都市政策課長 山田 〈事務局〉 企画政策課主査 亀田	田中 智麻	名古屋学院大学
	高木 洋一	春日井市区長町内会長連合会
	長岡 龍男	春日井市保育連盟
	松尾 隆徳	春日井商工会議所
	水戸 勤	春日井市小中学校PTA連絡協議会
	岩下 昌道	公募
	河原 吉矢	公募
⑥環境 〈テーマ〉 自然環境を次世代に引き継ぐまち 〈担当者〉 環境政策課長 大橋 環境保全課長 上村 〈事務局〉 企画政策課主任 欄	熊谷 三映子	春日井市婦人会協議会
	高塚 徳夫	春日井市老人クラブ連合会
	二宮 久夫	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議
	藪木 聡博	春日井市安全なまちづくり協議会ポニター連絡会
	秋山 普史	公募
	伊藤 昭彦	公募
	中島 亮	公募

1 健康・福祉

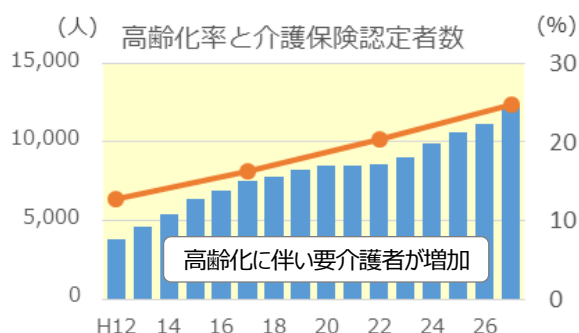
テーマ

高齢者が安心して生活できるまち

現状と課題

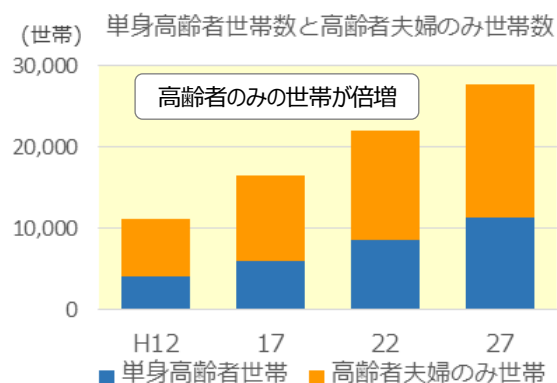
高齢者福祉

- 急速な高齢化により、介護や支援を必要とする人が増加しています。
- 高齢者が安心して生活するための支援の充実や、いつまでも元気でいきいきと生活できる環境づくりが必要です。



地域福祉

- 都市化の進展により地域のつながりが希薄化するなか、単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみ世帯が増加しており、孤独や孤立がさまざまな形で社会問題化しています。
- 生活保護世帯数が増加しており、生活保護の受給に至る経緯も複雑化しています。
- 地域で支え合う取組の推進や、生活困窮者の自立を支援する取組が必要です。



施策の展開（行政の取組）

高齢者福祉の充実

- ① 高齢者の自立した生活を支援するほか、介護等が必要な人へのサービスを充実します。
- ② 高齢者が生きがいを持って生活できる環境づくりを推進します。

地域での支え合いの推進

- ① 高齢者等が地域で安心して生活できるよう支援するほか、地域全体で支え合う活動を促進し、地域包括ケアの充実を図ります。
- ② 生活困窮者の自立した生活を支援します。

2 防災・生活安全

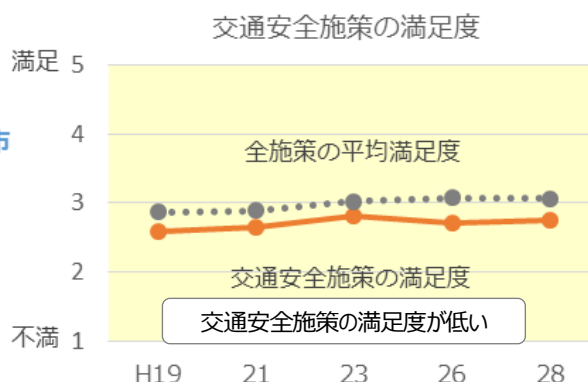
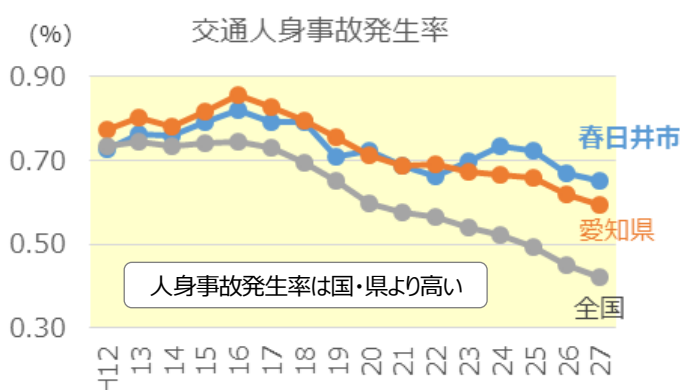
テーマ

交通事故が少ないまち

現状と課題

交通安全

- 愛知県は交通死事故死者数が13年連続ワーストであり、本市の人身事故発生率は全国や愛知県の平均より高い状況にあります。特に、自転車利用者が被害者、加害者となる交通事故が多発しているほか、高齢化の進行に伴い事故の増加が懸念されています。
- 市民意識調査において交通安全は市民満足度が低く、重要度が高いため、地域や関係機関と連携して対策を強化し、交通事故を減らす取組が必要です。



施策の展開（行政の取組）

交通安全対策の強化

- ① 交通安全教育や啓発を推進するほか、地域や関係機関と連携し、安全な交通環境の確保に努めます。
- ② 子どもや高齢者などの交通弱者や自転車利用者に対する安全対策を強化します。

3 子ども

テーマ

子どもが健やかに育つまち

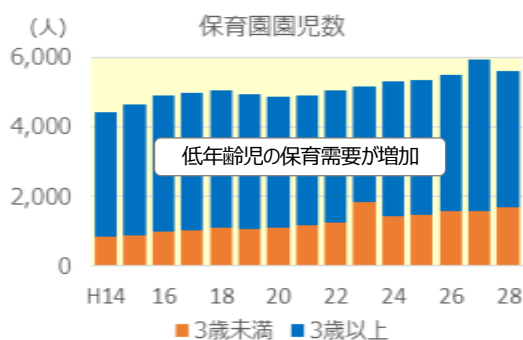
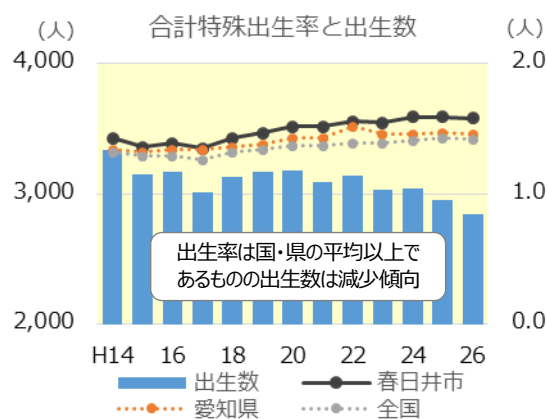
現状と課題

子育て

- 本市の合計特殊出生率(1.58)は、全国(1.42)や愛知県(1.46)の平均値を上回っているものの、出生数は年間3,000人を割り込み、減少傾向にあります。また、第3子以降の合計特殊出生率が全国の中でも低い状況にあります(1,742市町村中1,341位)。
- 核家族化や地域社会の変化により子育てに不安や負担を感じる人が増えているほか、共働き家庭の増加に伴い低年齢児の保育需要が増加しています。
- 子育ての不安や負担が軽減され、安心して子どもを産み育てられる環境の整備が必要です。

教育

- 小中学校の教室やトイレ、体育施設、図書室などの環境改善を進めてきましたが、引き続き、情報化の進展などに対応した良質な教育環境の確保が求められています。
- 核家族化やライフスタイルの変化などにより、学校における教育とともに、家庭や地域が担う役割が大きくなっています。家庭や地域の教育力の向上を図るとともに、家庭や地域、学校が連携し、社会全体で子どもを育てることが必要です。
- いじめや不登校など子どもの悩みは多様化・複雑化しており、一人ひとりへのきめ細かな支援体制の充実が求められています。



施策の展開（行政の取組）

子育て支援の充実

- ① 妊娠から出産、育児まできめ細やかで切れ目のない支援を行います。
- ② 保育環境の充実など働きながら子育てをしやすい環境整備を推進します。

教育環境の充実

- ① 家庭や地域、学校が連携し、確かな学力と豊かな人間性を育む教育を推進します。
- ② 学校施設を計画的に改修するほか、質の高い授業を実施する教育環境の向上を図ります。
- ③ いじめや不登校に対して関係機関との連携を強化した支援体制を推進します。

4 地域・文化・スポーツ

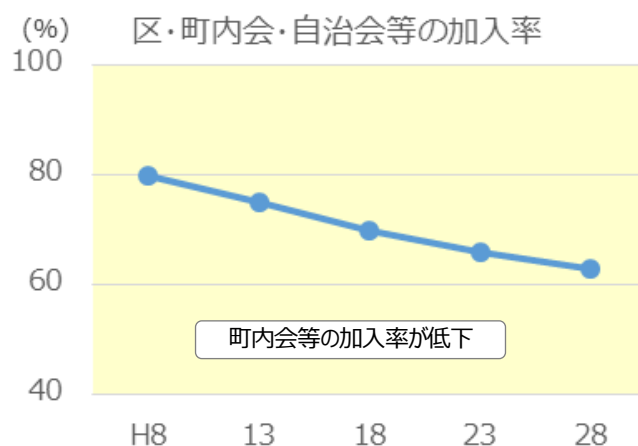
テーマ

地域のつながりがあるまち

現状と課題

地域活動

- 少子高齢化の進行や核家族化、価値観の多様化などにより、コミュニティ意識の希薄化が進んでいます。
- 多様化・複雑化する地域の課題を行政のみで解決することは困難になっており、市民、町内会、市民活動団体、事業者などとの協働が重要になっています。
- 各地区の特性に応じた支援や、住民の自発性を促す取組、そのための活動を行う環境の整備など、地域コミュニティの活性化に向けた取組が必要です。



施策の展開（行政の取組）

地域活動の促進

- ① 町内会などの地域活動の人材育成や地域の課題解決に向けた取組を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- ② 市民活動団体等との情報共有と連携を促進し、市民参加と協働によるまちづくりを推進します。

5 都市基盤・産業

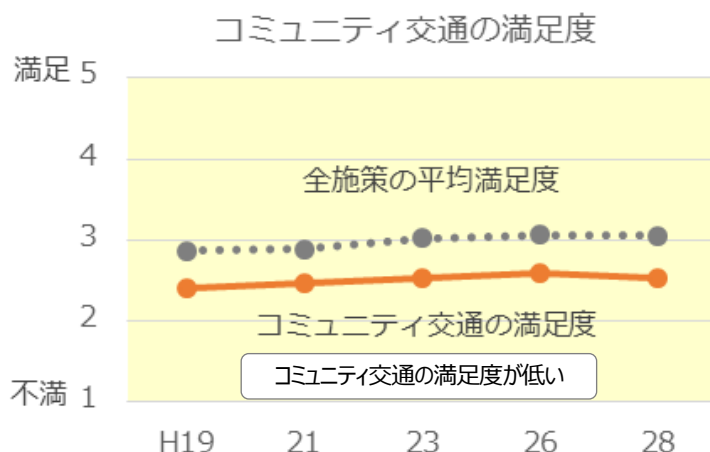
テーマ

コミュニティ交通の利便性が良いまち

現状と課題

都市基盤

- 人口減少や少子高齢化に対応し、都市機能が集約したまちづくりが求められています。
- 高齢化の進行に伴い高齢者の交通不便が生じています。歩いて暮らせるまちづくりや誰もが不便を感じずに移動できる交通環境の充実が求められています。



施策の展開（行政の取組）

都市基盤整備の推進

- ① 土地区画整理事業等による良好な住環境を整備するほか、駅周辺や地域拠点等に都市機能が集約したまちづくりを推進します。
- ② 高齢者の外出を促進する多様な移動手段の確保を図るほか、車、自転車、歩行者が安全で快適に移動できる交通環境を整備します。

6 環境

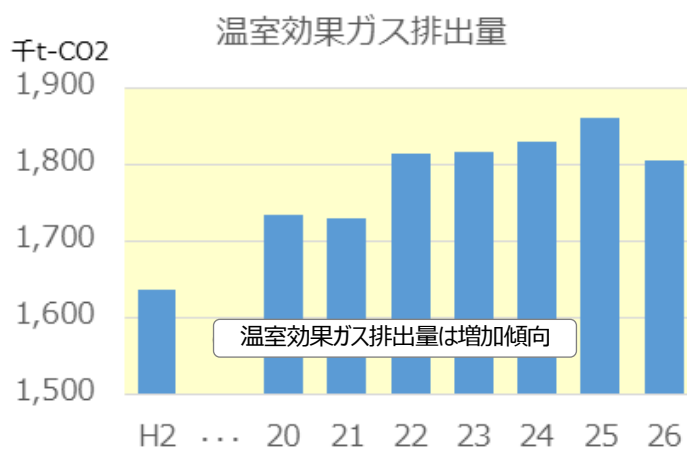
テーマ

自然環境を次世代に引き継ぐまち

現状と課題

自然環境

- 本市には東部丘陵地域の森林や市街地の公園、社寺林など、山から街にかけて緑豊かな自然環境があるほか、これらの自然を緑道や河川がつないでいます。
- 都市化により徐々に自然の豊かさが失われつつあるなかで、都市と自然が調和した住環境は本市の魅力の一つであり、自然環境の保全と緑化を推進し、豊かな自然を将来の世代に引き継いでいくことが必要です。
- 地球温暖化が進行するなかで、化石燃料に依存した社会からの脱却、低炭素社会への移行や、温暖化への対応が求められています。



施策の展開（行政の取組）

自然環境の保全

- ① 自然とのふれあいの場や機会の充実を図るほか、自然環境保全活動や緑化を推進し、人と自然が共生するまちづくりを進めます。
- ② 環境にやさしい取組を行う市民を育成するほか、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用を推進し、低炭素社会の実現を図ります。